

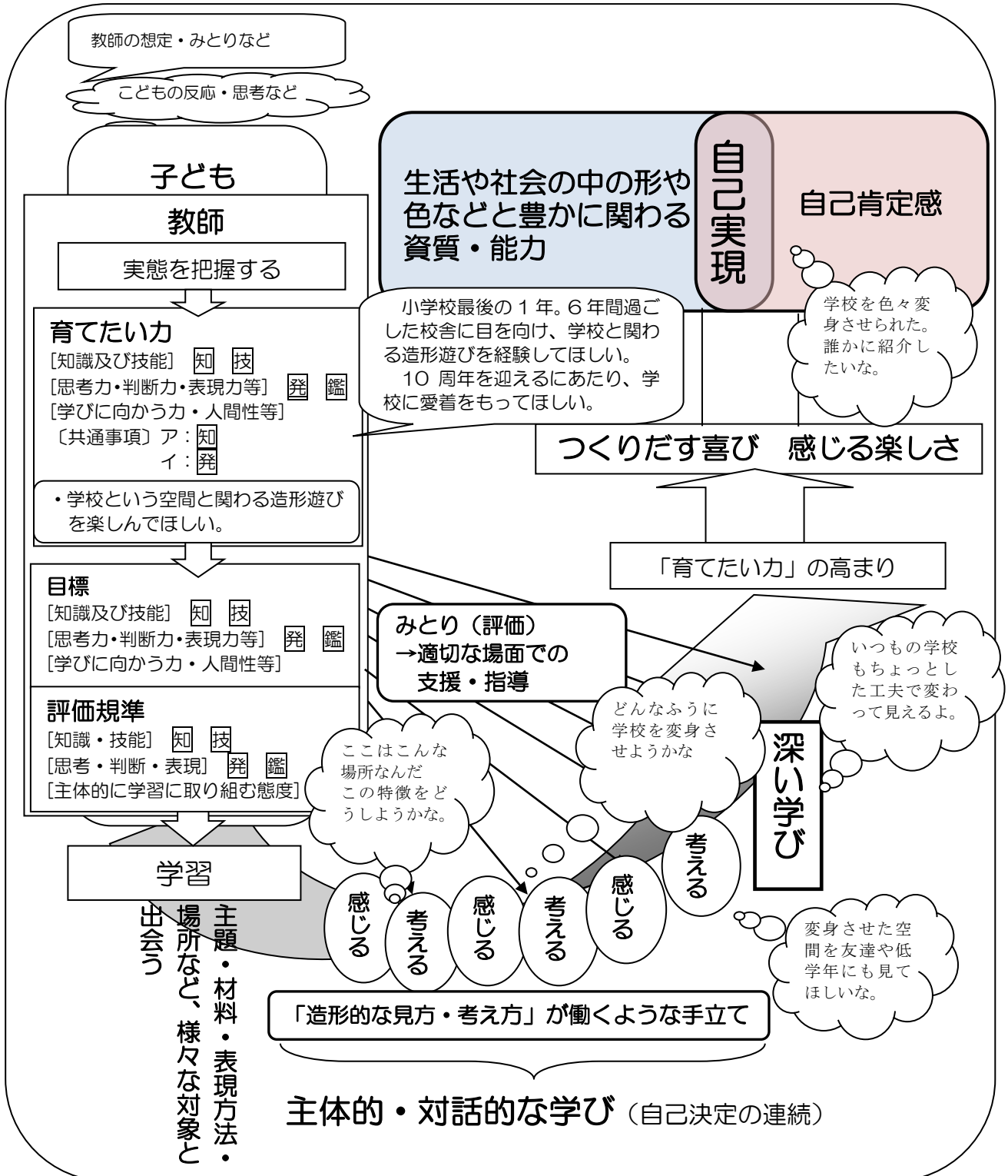
第6学年2組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

奥田 哲史

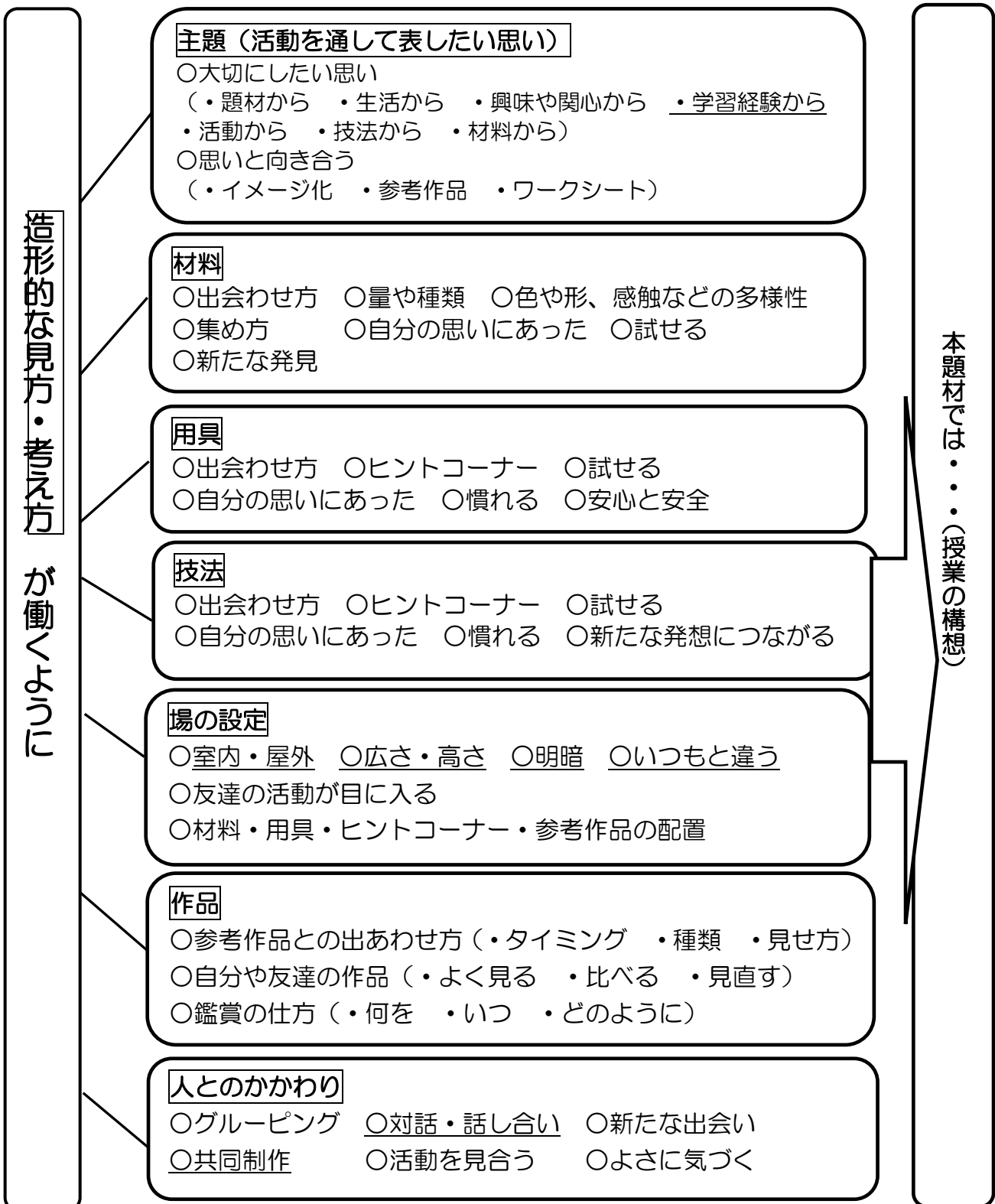
1. 題材名 「学校をお気に入りの空間に」 A表現 ア 造形遊びをする活動 2時間扱い

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



3. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・



4. 活動場所 教室 → 校舎全体

5. 題材観

(Ⅰ) 子どもたちの実態

6年生になり、たてわり活動などで学校のリーダーとして活動しようとする姿が見られる。小学校最後の運動会でも、騎馬戦や組体操など、励まし合いながら活動することができた。体全体を使って活動することを子どもらしい素直な思いで楽しむことができる。その良さを生かしながら、最高学年として自分たちが学校をよりよくしたいという思いをさらに育てていきたい。

これまで図画工作の中で、4年生では新聞紙を丸めて棒状にした新聞棒をつかった造形遊びを、5年生では紙コップをつかった造形遊びを行ってきたことで、造形遊びの活動が大好きである。材料をもとにそれらの特徴をつかみ、造形活動を行う楽しさを経験してきた。しかし、場所や空間を意識した造形活動の経験は少ない。楽しいことを考えることが好きな児童なので、学校を素材にして、6年間過ごした校舎と存分に触れ合ってもらいたい。

(Ⅱ) 題材と育てたい力

育てたい力：思考・判断・表現

本題材は学校全体を素材として、身近な場所をもっと楽しく、あるいはきれいに变身させる活動である。活動自体は単純で、どんな児童にも活動しやすい内容であるが、児童が自分の「こうしたい。」という思いを具現化するためには、学校という環境に対してその特徴をとらえ、能動的・創造的に関わる必要性が出てくる。

活動のうちは、身近な学校に目を向けもっと「こうしたい。」という思いを伸ばしていく。すると、学校という環境をよく見つめ、自分から進んで関わろうとするのではないかと考える。こういった活動の中で、活動を楽しみながら発想・構想の能力を育てていきたいと考える。

また、最高学年で行う造形遊びとして、活動の場にも広がりを見せて学校全体とする。今年度、学校が創立10周年を迎えることもあり、学校と関わる中で改めて自分たちの学校に愛着をもつ機会になってほしいと考える。

(Ⅲ) 造形的な見方・考え方が働くような手立て

～「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につなげるために～

①材料 学校全体

- ・6年間生活してきた学校をもう1度見直す機会として、学校全体を素材にする。「お気に入りの場所がどんな風になったらおもしろいか」と考えながら学校を歩くことで、改めて学校にどんな場所があるのか発見をしてほしいと考える。

②活動前のトーキングタイム

- ・造形遊びの活動前に、今までの造形活動をスライドで想起することで、どんな素材を使ってどんな活動してきたか思い出す時間を設ける。また、学校の1部の写真を紹介し、「どんな場所か。」「どんな風に変身したら楽しいか。」話し合う時間を設けることで、これからの活動の見通しをもつと同時に、意欲を高めることができると考える。

③児童の活動を助ける素材の準備

- ・学校の様々な場所を捉えることで、児童には「ああしたい、こうしたい。」という思いが生まれる。できるだけその声に応えられるように今までの造形遊びで使った道具(洗濯バサミや色水、紙コップや画用紙など)の他に、学校のその場にあるものを使っていいことと、ちゃんと片付けることを指導する。

④鑑賞を助けるデジタルカメラ

- ・児童はいろいろな場所で活動をするので、なかなか活動の様子を見合うことが難しい。そこで、デジタルカメラを使って、自分の活動を写真に収めるように声をかける。そうすることで、授業の途中や最後で各々の活動を見合うことができると考える

(Ⅳ) 学年の目標

＜第5学年及び第6学年＞

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	(2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	(3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

(Ⅴ) 各学年の内容及び共通事項

	知識・技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
A 表現	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること。(技能)	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思いつくことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。(発想・構想)	内容の中には、「学びに向かう力、人間性等」にあたる内容はないので、各学年の目標を参考にする。 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
B 鑑賞		(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や考え方を広げること。(鑑賞)	
共通事項	〔共通事項〕ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。(知識)	〔共通事項〕イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。	

(Ⅵ) 題材の目標

(1) 知識及び技能に関する題材の目標

○見つけた場所の色や形・奥行きなどの特徴を理解する。(知識)

○見つけた場所の特徴を生かしながら、その空間がよりよくなるように活動を工夫してつくる。
(技能)

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

○見つけた場所の特徴と使う材料の形や色などの特徴から、場所の様子を変えることを考える。
(発想や構想に関する資質・能力)

○体全体で場所の変化の様子を確かめたり、話し合ったりしながら、表現のよさや面白さなどを
感じ取り、見方や考え方を広げることができる。(鑑賞に関する資質・能力)

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

○主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

(※下線部は、児童による個人内評価へ)

6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知	見つけた場所の色や形・奥行きなどの特徴を理解している。	発	態
技	見つけた場所の特徴を生かしながら、その空間がよりよくなるように活動を工夫してつくっている。	鑑	
		発	
		鑑	

○(高) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

7. 準備

[教師] デジタルカメラ、目シール(いろいろなサイズのもの)、画用紙、模造紙、水性ペン、はさみ、色セロハン、ビニルひも、粘着テープなど 児童アイデアに答えられるよう準備

[子ども] サインペン、はさみなど

学校にあると考えられるもの

校庭：ボール、カラーコーン、ハードル、フラフープなど

体育館：跳び箱、マットなど

廊下：スリッパ、てすり、水道、下駄箱など

図書室：本、椅子、机など

8. 指導と評価計画（2時間扱い）

	<p>◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応</p>	<p>○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て</p>	<p>評価規準□と 評価方法（ ）</p>
	<p>◇今までの造形遊びを思い、どんなことをしてきたか話し合う。 ・紙コップや新聞をつかった造形遊びをしてきたよ。 ・次は何を使うんだろう？</p>	<p>○今までの造形遊びをスライドショーで映し、今までの活動を想起させる。 ◎今回は紙コップや新聞といった素材でなく「学校」という空間で造形遊びをすることを伝える。</p>	
<p>学校をお気に入りの空間に変身させよう！</p>			
<p>9 0 分</p>	<p>◇学校の1部を映した写真を見て、「どんな場所か」「どんな変身をしたら楽しいか」話し合う。（トークンタイム） ・ここは光が差すから、透明なものを置いたらどうかな。 ・ここは風が通りそう。ヒラヒラしたものを置こう。 ◇学校を歩き活動する場所を決め、その場所を、どのように変身をさせるか考えながら活動する。 ・ジャングルジムに目玉を付けて、大きな生きものみたいにしようかな。 ・雲梯にビニルひもをつけてカラフルに飾ってみようかな。 ◇空間を変身させた後の写真を撮り、鑑賞の準備をする。 ◇教室に戻り、それぞれが変身させた空間について写真を見合いながら、鑑賞し合う。 ◇それぞれの活動した場所の片づけをする。</p>	<p>◎光や風・奥行きなどが感じられる場所の写真を用意しておき、トークンタイムで場所の特徴に気づかせるようにする。 ○事前に学校の環境や施設を調べ、活動可能な場所を決めておく。 今回は、校庭、ひょうたん池、教室、音楽室、体育館、図書室 ○変身させた後写真を撮ること、教室に戻る時間を伝える。 ◎場所や環境の特徴に注目させ、生かすように声をかける。 ○つくりたいものに合った材料や用具などの使用について、適切な支援をしていく。 ◎工夫して出来た形や色やイメージの面白さを認め、さらに活動が進むように支援する。 ◎児童がカメラで撮ってきた写真をテレビに映し、紹介する手助けをする。 「どこを」「どんなふうに」変身させたか紹介できるよう支援する。 ○ごみの分別やまだ使えるものは再利用するよう伝える。</p>	<p>態 つくりだす喜びを味わい、楽しく学校の空間を変身させたり、友達の作品を鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。（発言・つぶやき） 知 見つけた場所の色や形・奥行きなどの特徴を理解している。（活動・作品） 発 見つけた場所の特徴と使う材料の形や色などの特徴から、場所の様子を変えることを考えている。（活動） 技 見つけた場所の特徴を生かしながら、その空間がよりよくなるように活動を工夫してつくっている。（活動） 鑑 体全体で場所の変化の様子を確かめたり、話し合ったりしながら、表現のよさや面白さなどを感じ取り、見方や考え方を広げることができる。（発言）</p>

9. 本時の活動（1・2/2時間 90分）

（I）本時の目標

（1）知識及び技能に関する題材の目標

○見つけた場所の色や形・奥行きなどの特徴を理解する。（知識）

○見つけた場所の特徴を生かしながら、その空間がよりよくなるように活動を工夫してつくる。

（技能）

（2）思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

○見つけた場所の特徴と使う材料の形や色などの特徴から、場所の様子を変えることを考える。

（発想や構想に関する資質・能力）

○体全体で場所の変化の様子を確かめたり、話し合ったりしながら、表現のよさや面白さなどを
感じ取り、見方や考え方を広げることができる。（鑑賞に関する資質・能力）

（3）学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

○主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色
などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

（* 下線部は、児童による個人内評価へ）

○（高）主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、
形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

（* 下線部は、児童による個人内評価へ）

(Ⅱ) 本時の展開

	<p>◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応</p>	<p>○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て</p>	<p>評価規準□と 評価方法 ()</p>
	<p>◇今までの造形遊びを思い、どんなことをしてきたか話し合う。 ・紙コップや新聞をつかった造形遊びをしてきたよ。 ・次は何を使うんだろう？</p>	<p>○今までの造形遊びをスライドショーで映し、今までの活動を想起させる。 ◎今回は紙コップや新聞といった素材でなく「学校」という空間で造形遊びをすることを伝える。</p>	
<p>学校をお気に入りの空間に変身させよう！</p>			
<p>9 0 分</p>	<p>◇学校の1部を映した写真を見て、「どんな場所か」「どんな変身をしたら楽しいか」話し合う。(トークンタイム) ・ここは光が差すから、透明なものを置いたらどうかな。 ・ここは風が通りそう。ヒラヒラしたものを置こう。 ◇学校を歩き活動する場所を決め、その場所を、どのように変身をさせるか考えながら活動する。 ・ジャングルジムに目玉を付けて、大きな生きものみたいにしようかな。 ・雲梯にビニルひもをつけてカラフルに飾ってみようかな。 ◇空間を変身させた後の写真を撮り、鑑賞の準備をする。 ◇教室に戻り、それぞれが変身させた空間について写真を見合いながら、鑑賞し合う。 ◇それぞれの活動した場所の片づけをする。</p>	<p>◎光や風・奥行きなどが感じられる場所の写真を用意しておき、トークンタイムで場所の特徴に気づかせるようにする。 ○事前に学校の環境や施設を調べ、活動可能な場所を決めておく。 今回は、校庭、ひょうたん池、教室、音楽室、体育館、図書室 ○変身させた後写真を撮ること、教室に戻る時間を伝える。 ◎場所や環境の特徴に注目させ、生かすように声をかける。 ○つくりたいものに合った材料や用具などの使用について、適切な支援をしていく。 ◎工夫して出来た形や色やイメージの面白さを認め、さらに活動が進むように支援する。 ◎児童がカメラで撮ってきた写真をテレビに映し、紹介する手助けをする。 「どこを」「どんなふうに」変身させたか紹介できるよう支援する。 ○ごみの分別やまだ使えるものは再利用するよう伝える。</p>	<p>態 つくりだす喜びを味わい、楽しく学校の空間を変身させたり、友達の作品を鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。(発言・つぶやき)</p> <p>知 見つけた場所の色や形・奥行きなどの特徴を理解している。(活動・作品)</p> <p>発 見つけた場所の特徴と使う材料の形や色などの特徴から、場所の様子を変えることを考えている。(活動)</p> <p>技 見つけた場所の特徴を生かしながら、その空間がよりよくなるように活動を工夫してつくっている。(活動)</p> <p>鑑 体全体で場所の変化の様子を確かめたり、話し合ったりしながら、表現のよさや面白さなどを感じ取り、見方や考え方を広げることができる。(発言)</p>